

## 平成22年度 「かわまちづくり」計画の登録について

### 記者発表資料

国土交通省では、「かわまちづくり」支援制度に係る計画について新たに5件の登録を行いました。そのうち九州においては、2件が新たに登録されましたのでお知らせいたします。…[別紙1](#)

国土交通省河川局では地域の景観、歴史、文化等を活かし、地方公共団体や地域住民との連携の下で、河川空間とまち空間の融合が図られた良好な河川空間形成を目指す取組である「かわまちづくり」を、治水上及び河川利用上の安全・安心に係る河川管理施設の整備等を通じて支援する「かわまちづくり」支援制度を平成21年度から運用しています。…[別紙2](#)

#### ○九州における《かわまちづくり》新規登録箇所 [2件](#)

(九州の認定件数は11件になります。)

- ・鹿児島県薩摩川内市(<sup>せんだいがわ</sup>川内川) …[別紙3](#)
- ・鹿児島県伊佐市(<sup>せんだいがわ</sup>川内川) ……[別紙4](#)

平成23年 3月 31日

国土交通省 九州地方整備局

◆問い合わせ先 九州地方整備局 TEL 092-471-6331(代表)  
河川部 河川環境課長 しまもと 島本 (内線 3651) (直通 092-476-3525)  
河川環境課長補佐 おにつか 鬼塚 (内線 3652) (直通 092-476-3525)

	直轄・補助	計画名称	都県名	市町村名	水系名	河川名	箇所名	計画主体	計画の概要
九州地整	直轄	かわまちづくり	鹿児島県	薩摩川内市	川内川	川内川	ムコウダチク 向田地区かわまち づくり	直轄 薩摩川内市	<p>薩摩川内市には、一級河川川内川が流れており、河畔散策、花火大会等のイベント、カヌー・レガッタ等のリバースポーツなど、多くの市民に活用されている。</p> <p>薩摩川内市は平成19年3月に策定された薩摩川内市都市計画マスタープランの中で、川内川についてスポーツや各種イベントの活動拠点として魅力あふれる河川空間の形成を図ることとしており、川内川河川空間を利用した、歴史的風致を生かした魅力あるまちづくりを進めていくこととしている。</p> <p>また、平成23年3月に九州新幹線が全線開通したことから、近接する川内駅のメリットを活かして、人を惹き付ける都市づくりを目指すとともに、かわづくりとしてまちなかを流れる川内川の水辺のふれあい空間を形成することで、うるおいとやすらぎの魅力ある都市づくりを進める。</p>
	直轄	かわまちづくり	鹿児島県	伊佐市	川内川	川内川	ユノオチク 湯之尾地区かわま ちづくり	直轄 伊佐市	<p>伊佐市には、一級河川川内川が流れており、ドラゴンボートやカヌー、カヤックなどの競技、高水敷を活用したパークゴルフ等が盛んに行われている。</p> <p>一方で、伊佐市は平成19年7月に伊佐地区合併協議会で作成された新市まちづくり計画に基づき、安全で安心して暮らせる快適な生活空間づくりを図るとともに、災害に強い安全で安心なまちづくりを進めていくこととしている。</p> <p>このため、カヌー競技イベントや水辺体験活動とも連携を図り、広い親水スペースや温泉等の地域資源を活かした交流拠点・観光拠点の整備を進め、魅力あるまちづくりを進めるとともに河川利用上の安全性の向上を図る。</p>

観光などの活性化に繋がる景観・歴史・文化等の河川が有する地域の魅力という「資源」や地域の創意としての「知恵」を活かし、地方公共団体や地元住民との連携の下で立案された、実現性の高い河川や水辺の整備・利活用計画による、良好なまちと水辺が融合した空間形成の円滑な推進を図ります。

## ソフト面

- ・ 民間事業者による河川敷のイベント広場やオープンカフェ等への利用制度(河川敷地占用許可準則の特例措置)等を拡充
- ・ 河川管理者として「地域づくりのためのフォローアップ」を積極的に支援

## ハード面

- ・ 治水上及び河川利用上の安全・安心に係る河川管理施設の整備を通じ、まちづくりと一体となった水辺整備を支援

河川を核とした地域活性化(一例)

【河川管理者の取組み】

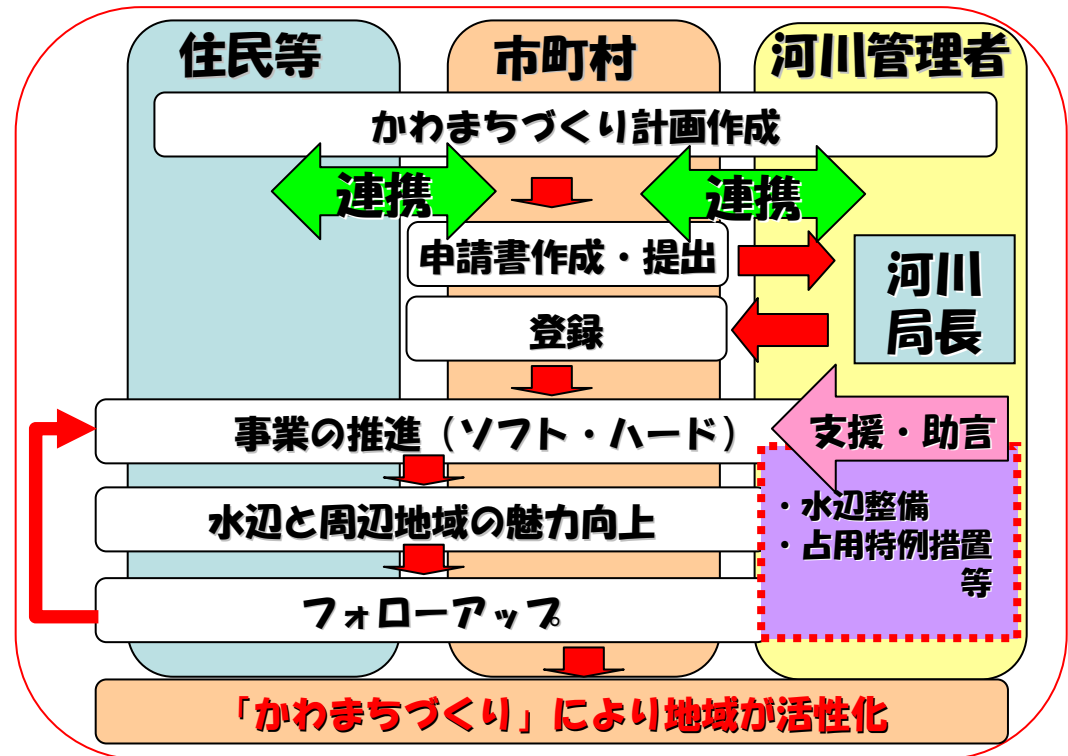
【地域の取組み】



管理用通路の整備(フットパスにも活用)



観光ボランティアガイド



- ①地域の創意としての「知恵」を活かした計画を対象
- ②利活用方策が地域において明確となっているものを対象
- ③施設の維持管理に地域の協力が得られるものを対象

# 「向田地区かわまちづくり」

市町村名：鹿児島県薩摩川内市

対象河川：川内川水系川内川

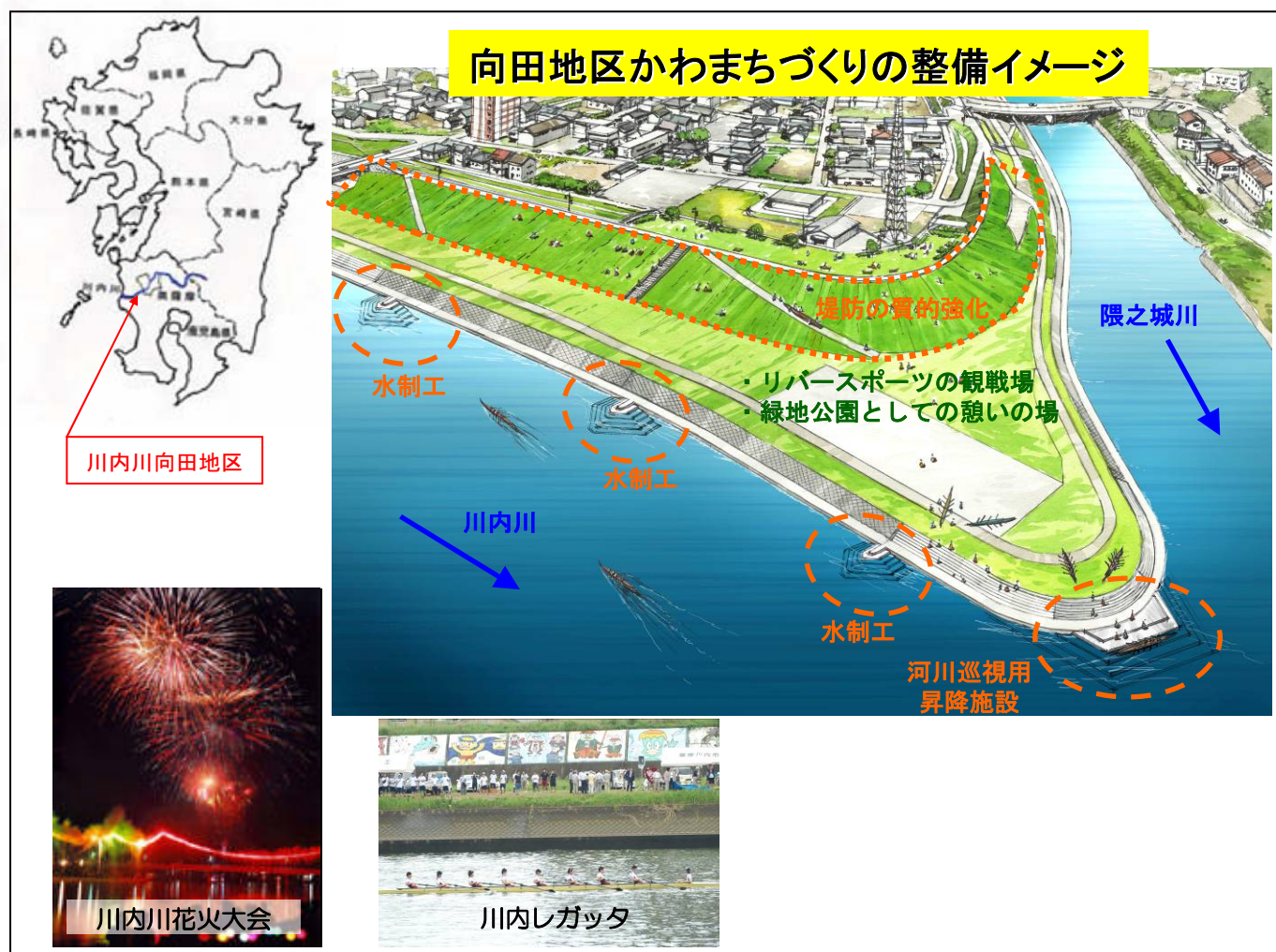
## 1. 概要

薩摩川内市には、一級河川川内川が流れており、河畔散策、花火大会等のイベント、カヌー・レガッタ等のリバースポーツなど、多くの市民に活用されている。

薩摩川内市は平成19年3月に策定された薩摩川内市都市計画マスタープランの中で、川内川についてスポーツや各種イベントの活動拠点として魅力あふれる河川空間の形成を図ることとしており、川内川河川空間を利用した、歴史的風致を生かした魅力あるまちづくりを進めていくこととしている。

また、平成23年3月に九州新幹線が全線開通したことから、近接する川内駅のメリットを活かして、人を惹き付ける都市づくりを目指すとともに、かわづくりとしてまちなかを流れる川内川の水辺のふれあい空間を形成することで、うるおいとやすらぎの魅力ある都市づくりを進める。

## 2. 整備内容





# 「湯之尾地区かわまちづくり」

市町村名: 鹿児島県伊佐市

対象河川: 川内川水系川内川

## 1. 概要

伊佐市には、一級河川川内川が流れており、ドラゴンボートやカヌー、カヤックなどの競技、高水敷を活用したパークゴルフ等が盛んに行われている。

一方で、伊佐市は平成19年7月に伊佐地区合併協議会で作成された新市まちづくり計画に基づき、安全で安心して暮らせる快適な生活空間づくりを図るとともに、災害に強い安全で安心なまちづくりを進めていくこととしている。

このため、カヌー競技イベントや水辺体験活動とも連携を図り、広い親水スペースや温泉等の地域資源を活かした交流拠点・観光拠点の整備を進め、魅力あるまちづくりを進めるとともに河川利用上の安全性の向上を図る。

## 2. 整備内容

